

月刊 岩田会計 第16号

平成20年4月30日

税理士 岩田英人

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

日々春を感じることができる季節になり過ごしやすい毎日が続きますね。

さて、北京オリンピックまで100日を切ったということで、聖火リレーの騒動も一段落し、中国では何故か100日前の記念硬貨の売れ行きも好調と大賑わいなようです。



【平成20年4月号】 暫定税率

今月は見事に政府に翻弄された一ヶ月でした。

先月は暫定税率の廃止でガソリン1リッター25円前後が一気に値下げされ、今度は暫定税率復活でさらには原油価格の高騰もあり1リッター30円前後の値上げと一喜一憂とはまさにこのことです。「苦しいとは思いますが国民の理解を求めていく」といったあきれた内容の福田首相の演説がされました。地方財政のことだとか公共事業を受ける業者さんのことだとか色んな点も無視できませんが今回の茶番劇のような政治は決して許されるべきものではありません。与党と野党のどちらが正しいとかそういうことではなく、国民の代表として選ばれた存在なのですから国民の目線でしっかりと建設的な議論をしてもらいたいものです。私見ですがいつまでも「暫定」って付いていること自体がそもそも間違っていると思います。

税額控除の範囲は景気が回復したからとか何とか理由をつけてどんどん縮小していきます。ですが収入となる暫定税率は残したままできています。国民の大切な税金を預って国家を運営しているのですから未来のために将来像をしっかりと描ける運営をしていただきたいものです。しっかりと将来像を描きそこに向かって様々な意思決定が国民の目線で国民の見えるところで議論され決定されていくべきだと思います。

岩田会計事務所は経営理念策定・経営計画策定・経営計画遂行支援に力を入れて取り組んでおります。お気軽に声をかけてご相談ください。